



# 神郷 公民館だより



## 神郷公民館

46-1181

koukou@city.niihama.ehime.jp

### 神郷 校区の人口

人口 9,777 人  
(男) 4,727 人  
(女) 5,050 人  
世帯数 4,587 世帯  
令和3年12月末現在

## 川東中学校2年生

### 少年の日を迎える決意作文

#### 私の夢

石川 初



私の夢は、母と同じエステセラピストという仕事をする  
ことです。そのためには、知識と経験が必要なため、これから色々なこと  
を学び経験をつんで母に認めてもらえるような大人になりたいと思いま  
す。私はいつも、家族には支えられてばかりです。特に母は、いつも私を  
支えてくれていて。毎日仕事で忙しいのに、兄や私の前ではいつも笑顔  
で接してくれているし辛いことがあれば相談にものってくれるし、それに  
周りからの信頼も厚く、いつも私達子どもを一番に考えてくれると  
ても強くて優しい母です。そんな母の姿を見て、私も母のような人にな  
りたいと思い、エステという仕事をするのが夢になりました。いつまでも  
子どものままでいられるわけではないため、家族や周りの友人に、支えら  
れているだけではなくて、私自身が家族や友人を支えられるようにしたい  
です。だから、夢を実現できるように努力を惜しまず、たくさん経験をつ  
んでいきたいです。

#### 誰かのヒーローに

曾我部 由楽

私は、生き方を見習った人がいます。その人はいつも元気で明るくて、  
何事にも負けない強い気持ちを持っていて、ちょっとぬけているところも  
あるけれど、根は真面目で涙もろくて、仲間思いのすてきな人です。彼  
は、私の人生を変えてくれました。  
私は、彼に出会う前まで失敗することが恥ずかしい事だと思っていまし  
た。でも、  
「笑われたっていいじゃん。自分なりに満足できたんなら、それは大成功  
だよ。」  
という彼のすてきな言葉を聞いて、失敗して笑われてもそれは大成功だか  
ら、恥ずかしい事だと思わなくていいんだ、と思えるようになりました。  
自分に自信を持つことができました。  
彼は、私のヒーローです。私も彼のようになりたいです。失敗を恐れず  
に前につき進んでいける人に、たくさんの人を笑顔にできる人に、負けな  
い心を持っている人に、誰かの人生を良い意味で変えられる人に。そし  
て、誰かのヒーローになりたいです。

#### 心の強い大人に

黒河 葵

私は、逃げない強い心を持った大人になりたいです。なりた  
いと思つた理由は、今の私は少し辛いことがあつたらマイナス  
に考えたり思っていることがなかなか言えなくてすぐにストレ  
スがたまってお腹が気持ち悪くなります。だから、言いたいこ  
とが言えなくて逃げるのではなく自分の気持ちと向き合える強  
い心の持った大人になりたいです。大人が全員、心が強い人か  
と違うと違います。大人でも自分の嫌な事から逃げる人がたく  
さんいます。私はそんな大人になりたくないし、その人達も逃  
げて良いことばかりではないと思います。少しずつでも、自分  
と社会と向き合つていけるようにしたいです。きっと将来、働  
く時にも相手の人と上手くいけるようにしたいです。強くない  
で、今から周りの大人をみたりどのようにして強い心を持つこ  
とができるのかを考えながら、良い大人になれるように思つて  
いることをしっかりと伝えるように少しずつ頑張っていきたいで  
す。

#### 強い人になりたい

眞木 優歌

私は、強い人になりたいです。一言に「強い人」と表しまし  
たが、いろいろな面で強い人になりたいです。  
一つ目は、部活動。毎日の練習を真面目に、一生懸命頑張り  
たいです。そして、試合で勝てる、強い人になりたいです。  
二つ目は、心。自分を甘やかさないで、自分に厳しくできる  
ようになりたいです。また、正しい行いをして、周りに流され  
たり、人としてよくない行動をしないようにしたいです。  
三つ目は、体。今は、新型コロナウイルスも流行っているの  
で、ウイルスに負けない強い体を持たなければなりません。だ  
から、規則正しい生活をして健康に過ごしたいです。  
私は、心も体も、いろいろなところで強い人になりたいで  
す。だから、これから努力して、強い人を目指して、頑張りま  
す。

#### 理想に近づくために

齋藤 蓮

私はすぐに決めることができません。もしもこうだったらど  
うしよう...と不安になってしまいます。良く言えば慎重、悪く  
言えば優柔不断。だから、自分で考え、決めることができるリ  
ーダーシップのある人になりたいです。そこで、どうしたらそ  
うなれるのか考えてみました。そこで思いついたのは、決断の  
早い人を「まねる」ことです。どんな理由で決めてみるのもい  
いかもしれません。少しずつにはなりますが自分の理想に近づ  
けることができるように努力します。  
人の話を上手に聞いている友達がいきました。その子を見て、  
すごいなああんなふうになりたい!!と思いました。まず私は感  
情の全てが顔にでてしまいます。興味のない話だとつまらなそ  
うな顔になってしまいます。なので表情から気をつけて、相づ  
ちを上手にし、上手な聞き手になる方法が載っている本を読み  
ます。話していて楽しいと感じられる人になります。努力する  
ので見守ってください。

## 人権標語(神郷小)

『あの子はダメで あの子はOK』  
そういう世界が 私ほきらい

6年 曾我部 茅依(ちい)

大丈夫? 勇気を出して 言ってみよう

6年 伊藤 翔馬(しょうま)

さしだそう やさしいその手 さりげなく

6年 加藤 萌愛(もな)

## 神郷俳句教室



八坂の塔しずかしくかに雪の積む

永易 千鶴子

挽き白や祖母と粉挽く寒の入り

三好 寿恵子

寒き朝元気ですかと友の声

村上 生子

大寒の星輝きて澄み亘る

安藤 由子

あたたかき看護の声や春近し

市川 由紀子

愛犬の足跡続く雪景色

内田 八重子

さわらぶね  
鱈船かもめ連れきて沖港

加藤 ミドリ

つぎがた  
春淡き月像乗せて揺ら揺らと

加地 清子

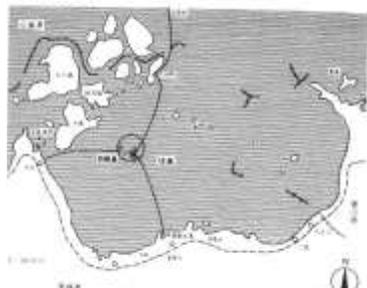
一夜乞ひし古刹に熱き柚子の風呂

阪上 史琅

## 探訪シリーズ

明治32年、別子銅山の大災害について  
神戸新聞の記者が新居浜へ取材に

来た記録（その2）



四阪島を中心にした略図

別子所属の木津川丸137トン



続編です。だより1月号で「明治32年にあった、別子銅山の死者513人負傷者26人という人的被害、製錬所など生産体制の流失、山津波で一山が崩壊する。」というこの災害情報が神戸新聞に達するや、江見忠浩記者は、その実状を取材するために、単身にて鉄道、連絡船を乗り継いで、この新居浜へ取材に来たのである。1月号では、その『はしり』について書いた。

その続きについて、江見忠浩記者の足跡を追って整理してみたい。2022年令和4年の現代であれば、空にはジェット機が飛び、陸上では新幹線が走り、瀬戸大橋が架かり特急が走り、海ではカーフェリーや高速艇が人や物を運ぶという高速体系が整備されているが、いかんせん122年前の明治32年では、交通事情はなほだ不便な時代であった。

四面を海に囲まれたわが国では、歴史的にも海上交通が発達していて、人の移動も物を運ぶのにも、陸上交通をはるかに先んじていた。そのような状況のなかで、わが国でも陸上交通の必要性から、明治時代に入り鉄道建設を決定、新橋—横浜間の鉄道建設が始まり、そして1872年9月12日（明治5年）『汽笛一声新橋をはや我離れたり…』と唱歌にあるように、わが国で初めて鉄道が新橋—横浜間で開業した。引き続き鉄道の建設は急ピッチで進められ1889年7月1日（明治22年）に東海道本線が全線開通した。一方1894年（明治27年）に広島までが開通した山陽本線は、経営上の問題から瀬戸内海航路との競争を強いられるという事情もあり、他の本線と違って様々なサービスがあった。即ち、いち早く急行列車の設定、列車ボーイのサービス、食堂車の営業、寝台車の連結などサービスの向上に勤めた。

神戸新聞の江見忠浩記者は、1899年（明治32年）8月28日にあった別子銅山の災害の状況が3日後の31日の午後神戸新聞に達するや、その実状を取材するために、単身にて取材を決意し、午後11時40分神戸駅発の急行列車にて出発した。車中の人々は、別子銅山の事件に関係して現地へ赴く多くありと記録している。列車は明けの9月1日午前6時10分尾の道駅に着く。尾の道駅では、上り下りの汽車を降りた人の多くは新居浜行の船便をを求めるもの続々として百人を超える人ありと様子をよんでいる。12時出港予定の江見記者の乗る別子所属の木津川丸は、尾の道港で白米と漬物の大樽を積み込み、午後1時、ようやく新居浜に向け出港したのである。（つづく）

## 神郷まちづくり委員会10周年記念 「神郷探訪」が発刊



令和4年2月10日 渡部さん、柴田まちづくり委員長、  
神野編集長が愛媛新聞の取材を受けました。

「神郷公民館だより」の連載コーナーで郷土の歴史を綴ってまいりました左記の「探訪シリーズ」が一冊の本にまとまりました。「神郷探訪」は、神郷公民館だよりの平成14年10月号から令和3年12月号までに掲載した「探訪シリーズ」を一冊にまとめたもので、現在も連載中ですが、200回を超えるロングランとなり、また神郷まちづくり委員会の10周年というタイミングをとらえ記念誌として発刊したものです。

本書は19年間221回にわたり掲載された内容で構成されております。筆をとったのは、神郷公民館元館長の渡部強さん（田の上在住）で取り上げられた内容は多岐にわたり、一話完結式の「読み物」として、どのページから読み始めても楽しめる構成となっております。

この度の刊行を機に、社会福祉協議会神郷支部さんは、川東中学2年生の「少年の日」に合わせ、神郷校区の生徒に本書を贈呈しました。

本書がシニア世代の方には古き良き神郷を思い出すきっかけとなり、そして若い世代の方には、先人の苦しみ、悲しみ、喜び、希望の上に今が成り立っていることを読み取っていただく良い機会になればと思います。

数に限りがありますが1冊500円で販売しております。

神郷まちづくり委員会

（お問合せ先 0897-46-1181 神郷公民館）

### 学校開放運営委員会の開催について

日時 令和4年3月28日（月）19:00～

場所 神郷公民館 学習室

※日頃、神郷小学校及び川東中学校のグラウンド、体育館等を使用されている団体さん対象の年に一度の会です。代表者の方が出席できない場合は代理の方の出席をお願いいたします。



### 3月（弥生）の行事予定

2日（水）	19:00～	安全安心部定例会	神郷公民館
8日（火）	19:00～	老人クラブ定例会	〃
11日（金）	13:30～	社協事務局会	〃
14日（月）	19:00～	民児協定例会	〃
16日（水）	19:00～	社協理事会	〃
17日（木）		川東中学校卒業式	川東中学校
18日（金）	19:00～	運審会	神郷公民館
22日（火）		老人クラブ総会	〃
24日（木）		神郷小学校卒業式	神郷小学校
	19:30～	連合自治会長会	神郷公民館
25日（金）		小・中学校修了式	小・中学校
28日（月）	19:00～	学校開放運営委員会	神郷公民館
	19:30～	少年補導定例会	〃